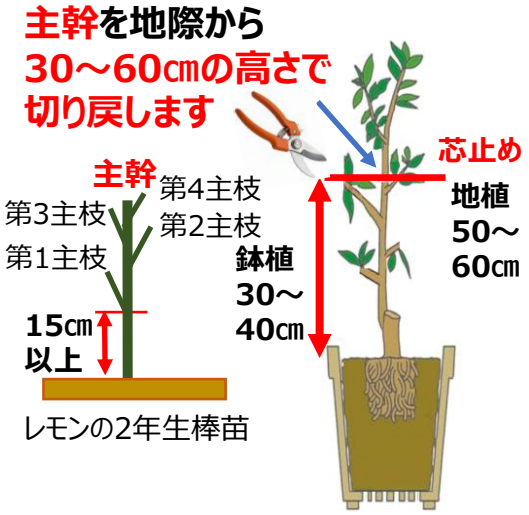
高さ1～2mの低い「開心自然形」に仕立てる方法（1～4年目）

by 栗山
高つきレモン

2026年10月26日

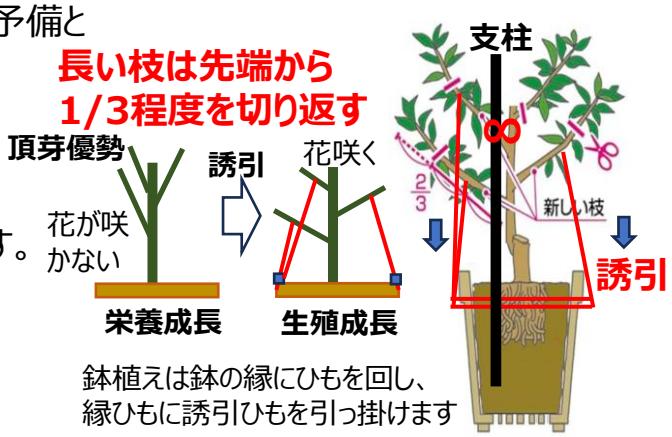
ポイント：コンパクトでキレイな樹形作りを優先し、その後に花を咲かせレモンを収穫します
目的：①管理のしやすさ向上、②実つきの改善、③病害虫の予防、④寿命と安定収量

1年目：木を芯止めする（主幹を低く切り戻す切り戻し剪定）主枝（しゅし）候補をつくる



4月～5月頃、苗木を植えてから1か月後に行います。
残す枝： まっすぐ伸びた元気な中心にある太い枝を**主幹**とします。主幹から出ている元気の良い枝3,4本を**主枝**候補にします。（一番下側の第1主枝の付け根は地際までの高さを15cm以上必要です）
第3または第4主枝の付け根から**約2cm**ほど上で主幹を切り戻し（地際から**鉢植えは30～40cm、地植えは50～60cm**の高さで**芯止め**）、トップジンMペーストなどの癒合剤を切口に塗ります。ただし、適切な主枝候補がなければ芯止めを急がず、1年後に行います。
除去する枝： それ以外の枝、芽はすべてかき取ります。
ポイント： 将来的に主枝となるのは3本ですが、枯れたときの予備として1年目は4本残して育てます。

2年目：3本の主枝を育てる（切り返し剪定と誘引）



3月頃、真上に伸びている主枝を麻ひもで**斜め下側に誘引**し、枝を広げ混み合わないようにします。夏枝、秋枝は切り取ります。
切り戻し： 1年目に伸びた長い新梢（新しい枝）は、先端を**3分の1ほど切り返し剪定します**。
芽かき： 残した主枝以外の主幹（中心の太い幹）から出てくる新芽は、見つけ次第すべて取ります。
補強： 主幹に沿うように支柱を土に挿し、麻ひもなどで結んで固定。
注意点： **2年目に付いた蕾はすべて摘み取ります（摘蕾）**。花や実に栄養をとられると木が十分に育ちません。

3年目：主枝と亜主枝（あしゅし）を育てる



3月頃、それぞれの主枝から外側へ伸びる枝を育て、内向きの枝や交差枝を整理します。
切り返す： 主枝からさらに伸びた新梢の先端を、同様に**3分の1ほど切り詰めます**。（切り返し剪定）
間引き剪定： 主枝から分かれて出た「亜主枝」のうち、**弱い枝、下に垂れ下がった枝**、混み合っている枝を**間引いて**、樹全体に均等に日が当たるようにします。（切り戻し剪定）
収穫の準備： 3年目からは実を鳴らせることができます。
葉の付け根の芽の中に小さな花の蕾ができてきます。
蕾がついている枝を短く切り詰めすぎないよう注意してください。
蕾を切り落とすと実はできない、毎年すべての枝を短く切らない。



4年目：樹形完成。結果母枝を育て、本格的な結実・収穫

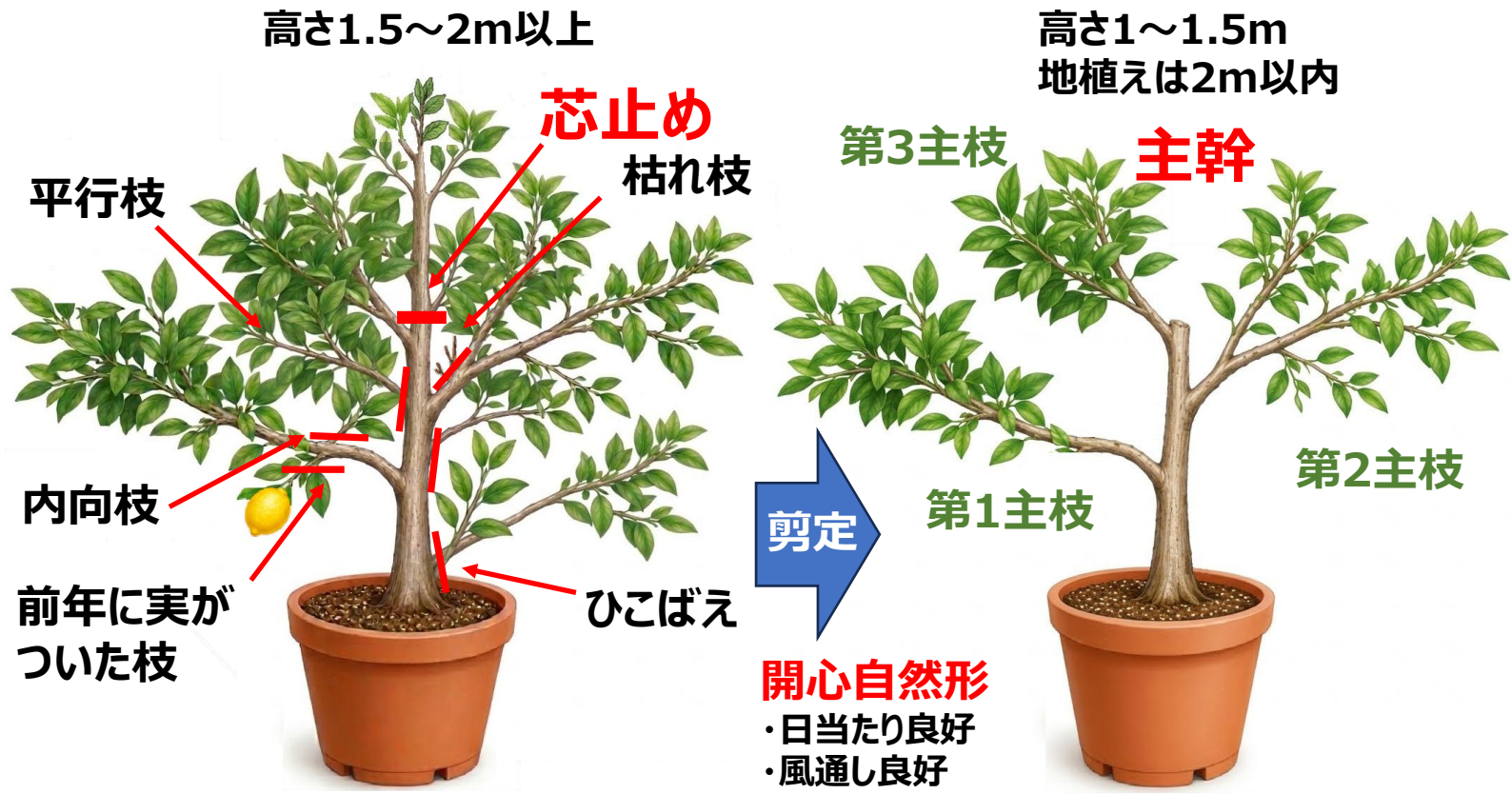


先端の管理： 前年に、どの枝に果実がついたか目印をつけて管理し、印のついた枝をカットする（切り返し剪定、**隔年結果**）
日当たりの確保： 枝が混み合わないよう、バランスを見て亜主枝を間引きます（切り戻し剪定）。伸びすぎた枝は先端を少し切り落とす。
ポイント： 3年目から結実可能ですが、より強固で健康な樹に育てるためには、**4年目から本格的に実をつけさせること**を勧めます。

すでにレモンの木が大きくなっている場合
3月に主枝3本を残す開心自然形に仕立てるのがおすすめ

by 栗山
高つきレモン
2026年10月26日

ポイント：強剪定で樹形を作ります、その後に花を咲かせレモンを収穫します
目的：①管理のしやすさ向上、②実つきの改善、③病害虫の予防、④寿命と安定収量



レモンの剪定方法

残す枝：まっすぐ伸びた元気な中心にある太い枝を**主幹**とします。
主幹から出ている元気の良い枝**3本を主枝**とします。
（一番下側の第1主枝の付け根は地際までの高さを15cm以上必要です）
第3主枝の付け根から**約2cm**ほど上で主幹を切り戻し（地際から**鉢植えは30～40cm**、**地植えは50～60cm**の高さで**芯止め**）、トップジンMペーストなどの癒合剤を切口に塗ります。

除去する枝： **それ以外の枝はすべて切り取ります。**
重なって混み合っている平行枝、内向枝、枯れた枝、ひこばえ（株元から生える若い枝）
前の年に実がなった枝（隔年結果のため、前年に実をつけた枝は剪定します）

剪定で樹形が開心自然形に仕立て終わると
主枝と主枝から外側へ伸びる枝、亜主枝（あしゅし）を育てます
切り返す： 主枝からさらに伸びた新梢の先端を、同様に**3分の1ほど切り詰めます。**（切り返し剪定）
間引き剪定： 主枝から分かれて出た「亜主枝」のうち、**弱い枝、下に垂れ下がった枝**、混み合っている枝を**間引いて**、樹全体に均等に日が当たるようにします。（切り戻し剪定）

先端の管理： 前年に、どの枝に果実がついたか目印をつけて管理し、
印のついた枝をカットする（切り返し剪定、**隔年結果**）
日当たりの確保： 枝が混み合わないよう、バランスを見て亜主枝を間引きます（切り戻し剪定）。
伸びすぎた枝は先端を少し切り落とす。 **葉の付け根の芽の中に小さな花の蕾ができてきます。**
蕾がついている枝を短く切り詰めすぎないよう注意してください。
蕾を切り落とすと実はできません。毎年すべての枝先を短く切らないように注意してください。